



## DSO加入機関のイベントのご案内

## ・神戸キャリアアップカフェ第1回「研究資金獲得能力をつけるには」

日時:2010年12月9日(木)16:00-18:00、場所:神戸大学瀧川記念学術交流会館大会議室

講師:薄井洋基氏(神戸大学特別顧問/学術研究担当)

問い合わせ先:神戸大学男女共同参画推進室(担当:中原、西谷)

TEL 078-803-5471、Email:gnrl-kobestyle@office.kobe-u.ac.jp

ウェブサイト:http://www.kobe-u.ac.jp/info/event/e2010\_12\_09\_01.htm

## ・(開催予告)ロールモデルとの懇談会

日時:2010年12月22日(水)12:00-13:00、場所:産総研つくばセンター共用講堂多目的室

講師:曾根秀子氏(国立環境研究所環境リスク研究センター)、美濃島薫氏(産総研計測標準研究部門)

## ・(開催予告)介護に関する勉強会「早い準備が不可欠!親の介護・自分の老後(仮題)」

日時:2011年1月11日(火)13:30-16:00、場所:産総研つくばセンター共用講堂大会議室

講師:山中由美氏(Pro・vision もも編集室)、主催:産総研総務本部男女共同参画室

## イベント参加報告

## ・つくば男・女(みんな)のつどい2010参加報告

11月13日(土)につくばカピオにて「つくば男・女(みんな)のつどい2010」(主催:つくば市)が開催されました。

テノール・ソプラノデュオ、ピアノの生演奏でスタートし、パネル展示団体による活動状況紹介(20秒/団体)、市長挨拶、つくば市男女共同参画推進標語の表彰と続き、湯浅誠氏(内閣府参与・反貧困ネットワーク事務局長)による「女も男も、全員参加型社会に向けて」と題した講演会が行われました。3つの傘(国、企業、正社員)がしぼむと雨に濡れる人(貧困層)が増えるお話など大変興味深いご講演でした。会場となったつくばカピオのホールはほぼ満席の賑わいでした。

講演会終了後はミニコンサートの歌声が響く中、パネル展示の説明の時間となりました。DSO加入機関からは、産総研、物産機構、農研機構、農環研、森林総研、筑波大学が出展しました。また、つくば市周辺で男女共同参画および子育て支援に活動するNPO団体等、計23団体がパネル出展し、それぞれの活動の紹介をしました。パネル展示では市原つくば市長が各団体の説明パネルを見に来られ、熱心に各機関の取り組みの説明を聞いておられました。



熱く語る湯浅氏

熱心に質問される  
市原つくば市長

## お役立ち情報・注目イベント

## ・パパとママで楽しもう「育児は期間限定の夫婦プロジェクト」(講演と絵本ライブ)

日時:2010年11月21日(日)14:00-16:00(13:30開場)、場所:イーアスつくば ホール

講師:安藤哲也氏(NPO法人ファザーリング・ジャパン代表、厚生労働省イクメンプロジェクト推進チーム座長)

主催:「のびのび子育て・楽しい子育てを考える会」(育ちの会)、後援:つくば市、つくば市教育委員会、つくば市社会福祉協議会

## ・～企業はどこまで介護と仕事の両立支援をしたらよいか?～仕事と介護の両立支援シンポジウム

日時:2010年12月3日(金)13:30-16:00(13:00開場)、場所:立教大学池袋キャンパス内 太刀川記念会館3階ホール

主催:立教大学大学院ビジネスデザイン研究科・21世紀社会デザイン研究科

ウェブサイト:https://www.wiwiw.com/img/press/pressrelease\_20101101.pdf

## ・RISTEX犯罪からの子どもの安全シンポジウム「子どもたちを虐待からまもる」

日時:2010年12月9日(木)10:00-16:00、場所:九段会館 <http://www.kudankaikan.or.jp/>

主催:子どもの傷害予防工学カウンスル(CIPEC)事務局、ウェブサイト:<https://www.dh.aist.go.jp/Workshop/2010HF/>

## ・シンポジウム「あなたの会社にぴったりなワーク・ライフ・バランス施策はこれだ!～先進企業5社から学ぶ最新ワーク・ライフ・バランス施策～」

日時:2010年12月14日(火)13:30-17:00(13:00開場)、場所:麻布区民センター地下1階区民ホール

主催:港区産業振興課港勤労福祉会館 電話:03-3455-6381

ウェブサイト:<http://www.city.minato.tokyo.jp/joho/gyomu/sansin/sangyo/topics/wlbsinpo/index.html>

## 編集後記

今月号から「DSOメールマガジン(テキストベース)」に加え「DSO News Letter」を発行することにいたしました。内容充実に向けてまだまだ試行錯誤の段階ですが、ご意見や掲載希望記事・企画がありましたら、遠慮なくDSO事務局までご連絡ください。